

令和7年度
ビジネスコミュニケーション検定試験
実施報告及び今後の検定試験について

資 料



主 催 公益財団法人全国商業高等学校協会

公益財団法人全国商業高等学校協会主催

ビジネスコミュニケーション検定試験規則

(平成25年2月, 26年2月, 27年2月, 令和3年2月, 6年2月, 7年1月, 8年1月改定, 8年4月施行)

- 第1条 公益財団法人全国商業高等学校協会（以下「本協会」という）は、ビジネスマナーおよびコミュニケーションに関する知識および能力を検定する。
- 第2条 検定はC B T方式によって行う。
- 第3条 検定は1種類とし、級の区別を設けない。
- 第4条 検定試験は年1回以上の実施期間を設けて実施する。
- 第5条 検定試験の出題範囲は別に定める。
- 第6条 検定試験は100点満点とし、検定に合格するためには、70点以上の成績を得なければならない。
- 第7条 検定に合格した者には、合格証書を授与する。
- 第8条 前条による合格証書は、次の様式による。

様式

第 号
合格証書
氏名
年月日生
本協会主催文部科学省後援 年度 ビジネスコミュニケーション検定 試験に合格したことを証します
年月日
公益財団法人全国商業高等学校協会 理事長 氏名 ㊟

- 第9条 検定試験受験志願者は、所定の申込手続きを行い、受験料を本協会に納めなければならない。
- 第10条 試験委員は高等学校その他の関係職員がこれに当たる。

ビジネスコミュニケーション検定試験施行細則

- 第1条 受験票は本協会で作成し、受験票は試験当日持参しなければならない。
- 第2条 C B T方式の試験日は、本協会が別途定めた実施可能期間のうち試験場校が指定した日とする。
- 第3条 試験の制限時間は40分とする。
- 第4条 受験料は、1,600円とする。(消費税を含む)
- 第5条 試験会場では試験委員の指示に従わなければならない。
- 第6条 合格発表は試験施行後1か月以内に行う。

ビジネスコミュニケーション検定試験出題範囲

1 ビジネスとコミュニケーション

(1) 意思決定と組織の構成者としての行動

ア 経営組織と意思決定

- ①経営組織の種類
- ②意思決定の方法

イ 業務の進行

- ①業務の進行方法
- ②スケジュール管理

(2) 人的ネットワークの構築

ア 職場の人間関係

- ①社会人の資質とルール
- ②組織の一員としてのルール
- ③信頼関係と人的ネットワーク

2 ビジネスマナー

(1) 応対に関するビジネスマナー①

ア 身だしなみ・表情・身のこなし

- ①身だしなみ
- ②表情
- ③身のこなし

イ あいさつ

- ①場面に応じたあいさつ
- ②お辞儀

ウ 言葉遣い

- ①敬語の種類（尊敬語・謙譲語・丁寧語）
- ②場面に応じた敬語の使い方
- ③ビジネスの場での言葉遣い

(2) 応対に関するビジネスマナー②

ア 名刺交換・紹介

- ①名刺交換
- ②紹介

イ 訪問・来客応対

- ①アポイント（訪問予約）
- ②訪問
- ③受付・案内・見送り
- ④お茶の接待
- ⑤席次

ウ 電話応対

- ①電話の受け方
- ②電話のかけ方
- ③場面に応じた電話応対
- ④携帯電話の使い方

(3) 交際に関するビジネスマナー

ア 冠婚葬祭

- ①冠婚葬祭の基本
- ②慶事
- ③弔事
- ④贈答

イ 食事

- ①テーブルマナーの基本
- ②日本料理・和食
- ③西洋料理・洋食
- ④中国料理
- ⑤立食スタイル

(4) 接客に関するビジネスマナー

ア 接客

- ①接客の心構え
- ②商品知識
- ③購買心理
- ④販売スキル

イ ホスピタリティ

3 ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション

(1) 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション

ア コミュニケーションの基本①

- ①コミュニケーションの種類
- ②コミュニケーションの方法
- ③アサーション

(2) ビジネスにおける思考の方法

ア コミュニケーションの基本②

- ①論理的な考え方
- ②ディベート

(3) ビジネスにおけるコミュニケーション①

ア ビジネスコミュニケーションの技法

- ①ディスカッション
- ②プレゼンテーション
- ③交渉
- ④苦情対応
- ⑤ソーシャルメディアの活用

イ 会議

- ①会議の目的・種類・形式
- ②会議の基本的な流れ
- ③会場設営
- ④議事の進行
- ⑤議事録

ウ ビジネス文書

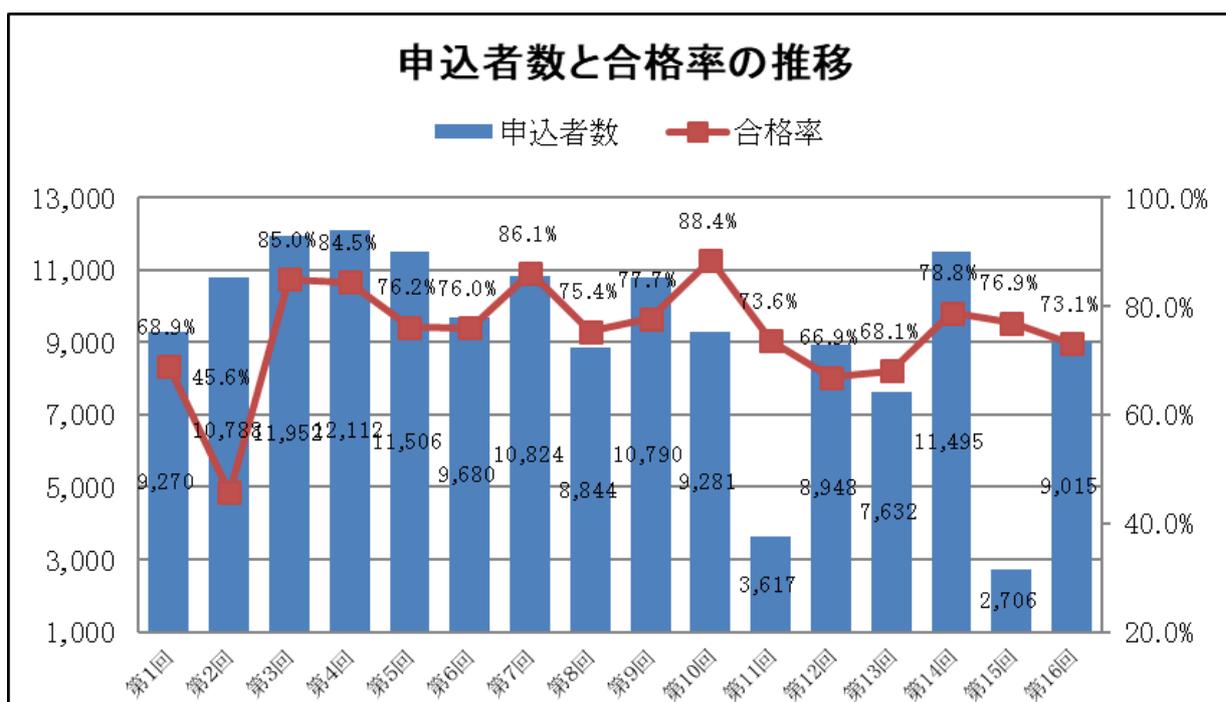
- ①ビジネス文書の基本
- ②社内文書
- ③社外文書
- ④社交文書
- ⑤文書の受発信
- ⑥電子メール

(4) ビジネスにおけるコミュニケーション②

ア ビジネスに関する時事問題

令和7年度（第15回・第16回）ビジネスコミュニケーション検定試験実施報告

- 1 実施日 令和7年6月7日(土)～7月27日(日)
令和7年11月1日(土)～12月21日(日)
- 2 試験会場 47都道府県の試験場校 第15回 88校 第16回 200校
- 3 申込者数 11,721名
(内訳：第15回 2,706名 第16回 9,015名)
- 4 合格者数 8,029名
(内訳：第15回 1,973名 第16回 6,056名)
- 5 第1回からの申込者数と合格率の推移



6 出題について

作問にあたっては過去に寄せられたご意見を参考にしながら慎重に検討を重ね、問題を作成いたしました。なお、出題範囲につきましては、当協会の定める「検定試験出題範囲」にもとづき、学習指導要領の科目「ビジネス・コミュニケーション」の指導項目である「(2) ビジネスマナー」を「1 ビジネスマナーに関する内容」として、「(1) ビジネスとコミュニケーション」及び「(3) ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション」を「2 ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション」として、出題しております。

7 令和8年度からの検定実施回数の変更について

多様なニーズに対応した柔軟な受験機会を提供するため、令和7年度の年2回実施から、以下のような年4回実施となります。

- ・令和8年6月6日(土)～7月26日(日)
- ・令和8年9月5日(土)～10月25日(日)
- ・令和8年11月7日(土)～12月27日(日)
- ・令和9年1月5日(火)～2月7日(日)

多くの先生方に本検定をご理解いただき、生徒の皆様に本検定へ挑戦する機会を与えていただければ幸いです。

令和7年度 ビジネスコミュニケーション検定試験
 申込者数・受験者数・合格者数集計表

令和7年度実施

No.	都道府県名	試験場 校数	令和7年度前期			試験場 校数	令和7年度後期			試験場 校数	令和7年度合算		
			申込	受験	合格		申込	受験	合格		申込	受験	合格
1	北海道	3	107	105	99	12	470	438	387	15	577	543	486
2	青森県	1	14	14	12	2	106	99	60	3	120	113	72
3	岩手県	2	17	17	15	2	10	10	9	4	27	27	24
4	宮城県	3	28	28	24	7	321	297	234	10	349	325	258
5	秋田県	2	32	32	22	4	82	81	57	6	114	113	79
6	山形県	0	0	0	0	1	14	13	13	1	14	13	13
7	福島県	4	114	109	89	6	351	340	212	10	465	449	301
8	茨城県	2	204	201	141	5	89	76	70	7	293	277	211
9	栃木県	7	503	494	454	8	404	340	251	15	907	834	705
10	群馬県	4	122	122	117	8	447	431	350	12	569	553	467
11	埼玉県	5	326	273	135	7	495	451	267	12	821	724	402
12	千葉県	1	7	6	6	2	233	228	184	3	240	234	190
13	山梨県	0	0	0	0	3	84	80	59	3	84	80	59
14	東京都	0	0	0	0	7	262	242	163	7	262	242	163
15	神奈川県	1	38	38	33	1	24	18	15	2	62	56	48
16	新潟県	2	33	32	23	2	31	30	24	4	64	62	47
17	富山県	0	0	0	0	1	30	25	20	1	30	25	20
18	石川県	0	0	0	0	2	78	76	48	2	78	76	48
19	福井県	0	0	0	0	3	155	155	128	3	155	155	128
20	長野県	1	15	15	14	2	70	61	50	3	85	76	64
21	静岡県	2	98	98	92	7	431	390	304	9	529	488	396
22	愛知県	7	91	88	63	14	947	862	619	21	1038	950	682
23	岐阜県	0	0	0	0	1	68	65	43	1	68	65	43
24	三重県	2	50	47	31	2	50	37	22	4	100	84	53
25	滋賀県	0	0	0	0	3	95	82	58	3	95	82	58
26	京都府	1	18	16	8	2	11	11	11	3	29	27	19
27	大阪府	0	0	0	0	4	237	211	102	4	237	211	102
28	兵庫県	0	0	0	0	1	17	17	15	1	17	17	15
29	奈良県	4	133	127	101	4	122	106	66	8	255	233	167
30	和歌山県	2	16	14	6	2	78	47	20	4	94	61	26
31	鳥取県	0	0	0	0	1	17	15	15	1	17	15	15
32	島根県	2	57	53	40	3	50	47	37	5	107	100	77
33	岡山県	1	33	28	14	5	522	494	413	6	555	522	427
34	広島県	1	45	42	29	2	43	36	21	3	88	78	50
35	山口県	6	129	119	82	4	56	54	46	10	185	173	128
36	香川県	0	0	0	0	3	71	69	47	3	71	69	47
37	徳島県	2	82	75	46	4	79	67	44	6	161	142	90
38	愛媛県	2	104	97	88	7	235	228	169	9	339	325	257
39	高知県	3	13	13	9	2	27	24	10	5	40	37	19
40	福岡県	2	43	43	28	5	333	298	189	7	376	341	217
41	佐賀県	1	37	36	27	3	77	76	67	4	114	112	94
42	長崎県	2	50	45	27	4	102	92	79	6	152	137	106
43	熊本県	1	14	14	12	2	19	18	10	3	33	32	22
44	大分県	1	18	18	17	4	184	180	142	5	202	198	159
45	宮崎県	1	3	3	3	6	252	223	147	7	255	226	150
46	鹿児島県	2	51	47	24	9	563	544	391	11	614	591	415
47	沖縄県	5	61	56	42	11	573	505	368	16	634	561	410
合計		88	2,706	2,565	1,973	200	9,015	8,289	6,056	288	11,721	10,854	8,029
		合格率	76.9%			合格率	73.1%			合格率	74.0%		

<過去の出題例>

- (1) ある日の昼前、営業部のAさんは、以前の上司である総務部のBさんと廊下でばったり会い、「久しぶりだね。昼飯を一緒に食べに行かないか」と誘われた。Aさんはいつも弁当を持参している。AさんとBさんが不快な気持ちにならないようなAさんの返答として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

ア. 「弁当を持ってきているので行きません」

イ. 「外食は身体に良くないのであまり気乗りしませんが、せっかくのお誘いなので行きます」

ウ. 「お誘いいただきありがとうございます。今日は弁当があるので遠慮しますが、今度ご一緒させてください」

エ. 「はい、是非ご一緒させてください。持ってきた弁当は夕飯にします」

- (2) タクシーの席次について、高い順に並べたものとして、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

ア. C→D→B→A

イ. A→D→C→B

ウ. C→A→D→B

エ. A→C→B→D

